

トピックス

★ 第6回講義：志望企業の内定を決めた院生の実践

★ 第8回：第2弾院生就活報告～多彩な業界への挑戦～

国立大学法人
東京海洋大学・キャリア支援センター
電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア支援センターが作成・配信しています。
キャリア開発に関するイベントのお知らせや活動報告等をお届けしています。

● 第6回 高度専門キャリア形成論

「志望企業への内定を決めた院生たちが語る！」

令和3年10月15日(金)～10月18日(月) オンデマンド配信授業 (受講生69名)

～志望企業への内定の決め手はなに？就活のポイントは？～

★ 南 駿介さん (MC2) 食品メーカー

早い時期から企業研究を始めて応募総数は13社に絞った。特にIR情報の確認は必要だ。インターンシップでは質問を多くして印象付け、他の就活生の答え方や態度を参考にし、とにかくメモを取り用意周到を心がけた。本選考開始までには研究概要や応募予定企業の志望理由はまとめておく必要がある。そして多くの周りの人の協力を仰ごう。



★ 一柳 友香理さん (MC2) 油脂メーカー

食品メーカー中心に32社と幅広い企業にESを提出し、開発職にこだわって内定後も納得いくまで企業選定を行った。面接では常に前向きな姿勢を見せて性格が伝わるような受け答えを心がけた。全く知らない人に自分を完結にわかりやすく伝えるのだから、面接対策はできるだけ早めに行っておこう。合否は気にせず『運』をつかみにいこう。



★ 三木 良太郎さん (MC2) 水処理メーカー

インターンシップや説明会は早くから参加して、水処理メーカー中心に応募企業は10社以下に絞り込み集中した。その企業のエンジンを知り、自分の能力とのマッチングを確認した。就活で最も重要なのは誰が読んでも伝わるESだ。周囲の人との会話を通して自分を客観視してみる事はとても大切。就活を通して人として成長したと感じた。



★ 小池 理佳さん (MC2) 食品メーカー

企業のインターンシップや企業説明会には積極的に参加した。企業研究は特に大切だ。志望企業ではまず現場を体験したく工場スタートの研究技術職を志願した。『食』を良くしたいという就活の軸は企業にもアピールし、自身のモチベーション維持にもつながった。将来は現場の経験を活かして商品開発にも挑戦したいと思う。



★ 垂水 慶紀さん (MC2) 製油メーカー

就活当初からメーカーの研究開発職を志願し、業界・企業研究と商品研究は誰にも負けない自信がつくまでやった。面接では『食の未来』を自分の言葉で話せたことが企業に通じた。就職にあたっての決意は、常に学び、経験し、成長し続けることだ。入社後は専門性を磨いて、博士号にも挑戦して海外の研究拠点で仕事したい。



共通項は「早めの準備」「自分の考えを言語化」「先輩や社会人からのアドバイス」「気持ちの切替」そして、視野を広げて業界企業研究に取り組んだことが印象的でした。自己分析で自分に向き合えたことが、納得がいく進路選択につながったことと思います。

● 第8回 高度専門キャリア形成論

第2弾「志望企業への内定を決めた院生たちが語る！」

～多彩な業界への挑戦～

令和3年11月5日(金)～11月8日(月) オンデマンド配信授業 (受講生56名)

★ 池田 大地さん (MC2) 電鉄会社

就活を進める過程で志願を設計事務所から不動産開発会社に変更した。面接では、自身の研究分野や経験を基に得られた強味とその再現性を伝え、人柄や体力など総合力をアピールした。面接では「なぜ？」という質問が多く、自分のやりたい事の背景や理由付けが必要だ。将来は海外駐在も体験し、人が成長できる都市施設開発をやりたい。



★ 吉永 樹生さん (MC2) 化学メーカー

OB訪問で仕事や業界に対する疑問を払拭して、化学メーカー中心の志望に変更した。更に営業職を志願し、自分の海外経験を活かせることも含めて「御社に入って貢献したい」と強い志願動機を表現した。就活前半戦での悩みや苦労も報われて、今は必要なものだったと思える。就活はポジティブにとらえて、面接では自信や明るさを表現しよう！



★ 石井 千恵さん (MC2) 化学メーカー

化学メーカーの研究職を志願して、「研究概要」を早く完成させていたことは役立った。当初面接ではたくさん失敗をして、自分の言ったキーワードには複数ものをエピソード用意して説得力をもたせた。これまでの研究への取り組みと海外志向が内定の決め手になったと思う。キャリア支援センターや教授、就活サイトなどを最大活用しよう！



★ 樋口 泰地さん (MC2) 放送会社

どんな仕事なら楽しみながら続けていけるかを就活の軸にした。マスコミ・新聞社など30社にESを提出して、目標を達成するまで諦めないでやり切った。自身の考えやその判断基準もすべて『言語化』することが大切。何度のESや面接で「祈られて」も諦めないことで勝ちパターンが見えてくるのだ。人事を尽くして天命を待つしかない！



★ 中野 滉平さん (MC2) IT通信企業

業界をIT・通信に絞り込んで集中した。就活仲間を作り情報共有とモチベーションアップに努めた。チャレンジングな社風に魅かれて入社を決めたが、自分のやりたいことを実現するため、目の前の仕事に全力投球したいと思う。就活は将来を考える良い機会となった。海洋大は個性として売り込めるので、皆さんも就活を楽しんでください！



自身の専門性に固執せずに幅広く業界を俯瞰し、パイオニア精神で企業開拓して、難関企業の内定を取った院生たちから、「強い貢献意欲と使命感」を感じました。新規企業で未来を切り拓きたい！皆さんの強い決意が印象的でした。(キャリア支援センター 塩谷和美)

キャリア支援センターは学内共同利用施設であり、学生のキャリア形成、進路指導や就職活動を円滑に推進するため、全学的立場から支援を行っています。

キャリア教育として学部生や大学院生にキャリア形成論の各講座を開催しています。またキャリア有資格者によるキャリア相談を充実させ、就職活動の支援体制を強化しました。

キャリア支援センターは皆さんの納得いく進路選択に向けた支援をしています。キャリア面談希望のご予約はHPをご覧ください。(担当 塩谷 和美・服部 典子・大野ゆり恵)

HPIは
こちら→

